



茶の香だより

地域と歩む第五中学校

校長 榎戸 千代子

今年度も、各部の皆様のご尽力により、充実した活動を展開することができました。

学習部では、漢字検定、夏季補習教室、3年生進路模擬面接等で生徒の学習や進路のサポート。地域連携部では、行事である五中フェスティバル、2年生職場体験等で新たな地域人材の発掘や体験場所確保等のサポート。生活部では、毎月1回の防犯パトロール、冬場を除く校庭の芝刈り等で防犯や環境のサポート等、各部で大変お世話になりました。

コミュニティ・スクールとして保護者や地域の皆様に関わっていただくことで、学校だけではできない様々な活動を行うことができました。改めて保護者、地域の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。来年度も皆様とより一層の連携を図ってまいりたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

多くの人の支えに感謝

副校長 関屋 裕之

「チームや家族や育ててくれたコーチ、担任の先生、いろんなところで支えてくださった方への思いが込み上げてきた。」「コーチだけでなく、学生やほかのチームの人たちが私を支えてくれた。皆さんにありがとう言いたい。」これらは、2月に行われた平昌オリンピックで金メダルを獲得した羽生結弦選手と小平奈緒選手の試合後の言葉です。いろいろな人の支えがあったということが改めてわかりました。

学校もまさに同じです。学校運営協議会、PTA、青少年対策委員会、おやじの会等、地域・保護者の多くの支えによって、学校は成り立っています。今年度も、学校運営協議会では、漢字検定の準備・監督、都立武蔵村山高校生による夏季補習教室の学習サポーター、保護司による3年生の面接練習、毎月の防犯パトロール、芝刈り、五中フェスティバルや職場体験の新規開拓等をしていただきました。教員だけでは到底成り立ちません。本当にありがとうございました。今後もよろしくお願い申し上げます。



御挨拶

第五中学校学校運営協議会会長 加園 一茂

日頃より五中学校運営協議会の活動にご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

五中学校運営協議会がスタートして4年目を終えようとしております。6年前の準備会から今日まで、五中校区の地域で活躍されている様々な立場の方々が集まり、学校の運営方針・理念等を校長先生と共有し、生徒のため、より良い学校にしていくため何ができるのかを考え活動をしてまいりました。

結果、学校評価の他、夏休みの補習教室・進路に向けた面接練習、五中校区防犯パトロール・校庭の芝刈り、五中フェスティバル講座開拓・講師依頼・職場体験の会社探し等を行ってまいりました。どの活動も地域に住んでいる私たちだからこそ貢献できる内容だったと思っている次第です。

実は五中学校運営協議会の委員の中で私が一番年下でした。委員の皆様は地域の中で御活躍をされてきた方々ばかりです。この3年間、会長という大役を仰せつかり何とか運営できたのは、委員の皆様と学校の先生方の御協力があったからこそと心より感謝しております。本当にありがとうございました。今後も微力ではございますが、母校である五中に少しでも恩返しできるよう、お力添えいたしたく思います。

さて4月から5年目の活動が新体制でスタートします。新会長のもと、学校運営協議会・学校の先生方・地域の方々三位一体となって学校・生徒たちのためになる活動を邁進していただけたらと思います。今後とも五中学校運営協議会の活動にご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

本当の春への準備

副会長 西川 義則

2年間の任期を終え無事、学校運営協議会が新しく歩み始めようとしています。委員、教職員の皆さまのおかげで、力不足の副会長を支えていただきまして本当にありがとうございました。

3月は別離(わかれ)の季節でもあります、新しい出会いの準備期間とも言えますね。

準備期間と言えば、この早春の厳寒の狭山丘陵に口ウバイ、マンサク、セツブンソウ、そして福寿草、一番寒いこの時期に咲く彼等は春を待ちきれないのでなく、「もう少しで準備期間(長い冬)が終わるよ!」と知らせてくれているのではないのでしょうか?

可憐に繊細でそれでいて力強く、新しくやって来る季節のために純粋にそして真剣に、本当の春への準備をしているのだと思います。私も彼等に負けないよう、純粋にそして真剣に取り組んでまいりたいと思います。今後も皆さま方の御指導御鞭撻、どうぞよろしくお願いいたします。



「地域が行き交う学校」目指して

学習部会長 田中比佐子

今年度で4年目を迎えました学習部の活動も学校、地域の方々の御理解、御協力により4つの活動を着実に進めて来ることができました。「学習サポーター参加の夏季補習教室」では武蔵村山高校の生徒さんが学習サポーターボランティアとして参加、また、「進路模擬面接練習」では地域の保護司の方々面接官として御参加いただきました。他に、年4回実施の「漢検サポート」では、前日準備、当日の監督者のサポートや、年3回の「茶の香だより発行」と、お陰様で充実した活動ができました。今後とも、「地域が行き交う学校」を思い描きながら学校、地域が一体となった活動ができますよう、力を注いで行きたいと思っております

地域連携部として

地域連携部会長 荒幡 善政

地域連携部は地域連携行事やボランティア活動等の活性化を目指して設立された部会です。主な活動として、五中フェスティバルの講座・講師開拓、ボランティア場所確保・開拓、職場体験学習の場所及び開拓などがあげられます。

今年度も7月1日に行われた五中フェスティバルで、昨年同様、講座の新規開拓を行い、その効果が見られました。毎年毎年学年の人数が違うので、同じ講座でも人数の受け入れ具合により新規に講座を開かなければならなくなる場合もあります。また講座の講師の先生方の都合でお休みになってしまうこともあります。その点を踏まえ毎年少しでも新規に講座を開拓していく必要があります。予算の都合もありますので、すべて採用になるかはわかりませんが、「こんな講座はどうだろう」や、お知り合いの方で講座を開けるような方を御存知でしたら学校及び地域連携部までお知らせください。また、毎年9月には2年生の職場体験学習があります。これから大人になり仕事をしていくにあたり、仕事に対する思い、経験を重ね、自分の未来を描いていく大切な体験です。生徒の希望と受け入れ事業所のマッチングはまだまだ隔たりがあります。こちら五中フェスティバルの講座開拓同様、御協力いただける方や事業所を御存じの方はお知らせいただければと思います。ボランティア活動にしても生徒が多いため、今でも多数の依頼が来ていますが、まだまだ足りない状態です。皆様をお願いごとばかりで、大変恐縮です。あんなこと生徒に体験させたらよさそうだな、とか、あそこの職場は生徒受け入れに良さそうだな、とか、少しでもピンと来ましたら、学校及び地域連携部にお知らせしていただけますとありがたいです。

地域連携部は学校と地域との懸け橋です。今後も生徒らの活動に地域の方々の力を生かしていけるよう学校側と協力し活動して行きたいと思っております。

来年度の活動に向けて

生活部会長 堀内 一弘

今年度の生活部の活動も残りわずかとなってまいりました。最後の活動として毎年、PTA や先生方の御協力もいただいて、校舎廊下の壁のペンキ塗りを行っております。春休み明けに少しでも気持ち良く登校してもらえたらと思い行っております。月に一度行っている防犯パトロールも地域の皆さま、先生方、PTA の皆さまの御協力のおかげで今年度も続ける事ができました。ありがとうございました。来年度は防犯パトロールも少し見直し、効率的に充実したパトロールができるように考えているところです。

生活部の活動も来年度、5年目に入ります。現在の活動が更に良いものになるように考えてまいりますので、保護者の方におかれましては御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。